

第7回中四国 MISt 研究会 開催報告

2017年10月21日（土）にTKP ガーデンシティ PREMIUM 広島駅前にて第7回中四国 MISt 研究会を開催させていただきました。45名の医師、61名の医療スタッフの方に参加していただき、盛会のもとに無事終了しましたことをご報告いたします。

今回の中四国 MISt 研究会では、特別講演、一般演題、ハンズオンセッションに加え、本研究会で初めての企画になるナースによるグループワークショップを行いました。

一般演題は看護師4題、医師6題のご演題を発表していただきました。どの演題も非常に興味深い内容で、活発な意見交換、討議ができました。MIStの手技が普及し、更に高いレベルに発展していることが窺われました。

ハンズオンセッションは4社に協賛していただきました。主に看護師を対象としてPPSを中心に各社2名の講師の先生方にご指導いただきました。

また、ナースを対象としたグループワークショップでは病院の垣根を超えた活発な意見交換を行うことができ、好評に終わることができました。

特別講演は、2名の先生にご講演を賜りました。

大阪市立大学大学院医学研究科整形外科学 総合医学教育学 講師 豊田宏光先生には「骨粗鬆症性椎体骨折の自然経過からみた治療戦略」と題し、豊富なデータをもとに導き出された骨粗鬆症性椎体骨折の治療戦略についてご講演いただきました。

国際医療福祉大学医学部整形外科学主任教授 国際医療福祉大学三田病院 整形外科部長 脊椎脊髄センター長 石井賢先生には「日本の MISt 手技の行方（未来はあるか？）」と題し、これからの MISt について、特に VR などの今後の発展が期待される最新の情報についてご講演をいただきました。

今回の研究会を無事に成功裏に終えることができ、御参加頂いた先生方、医療スタッフの方々に感謝申し上げます。また、共催の旭化成ファーマ株式会社、協賛の各メーカーの皆様のお力添えにこの場を借りて感謝申し上げます。

次回、第8回中四国 MISt 研究会は、平成30年6月23日（土）に香川県立中央病院の生熊久敬先生を会長とし、岡山コンベンションセンターで開催される予定です。日本 MISt

研究会会員の皆様におかれましては是非ご参加いただきますようよろしくお願いいたします。

第7回中四国 MIST 研究会事務局
当番幹事 田中信弘（広島大学）
事務局 山田清貴（JA 広島総合病院）

